

近年の『はだか祭』

(資料：尾張大國霊神社・稲沢警察署・稲沢市消防本部)

平成28年2月20日(土)	気象	雨 / 午後2時現在 6.5度
	裸男	8,000人
	参拝者	8万人
	神男	池谷 悟(名古屋市中区/会社員/45歳) ・参道登場 午後5時01分 ・儼追殿入 午後6時01分
	大鏡餅	一宮市奥町奉賛会 (50俵どり/総重量約4トン)

平成29年2月9日(木)	気象	雪のち曇 / 午後2時現在 2.9度
	裸男	8,000人
	参拝者	15万人
	神男	松岡 武弘(清須市大嶋/会社員/32歳) ・参道登場 午後4時55分 ・儼追殿入 午後5時55分
	大鏡餅	大里西奉賛会 (50俵どり/総重量約4トン)

平成30年2月28日(水)	気象	晴れ / 午後2時現在 14.5度
	裸男	8,100人
	参拝者	19.5万人
	神男	岩佐 郷史(稲沢市大塚北/会社員/27歳) ・参道登場 午後5時14分 ・儼追殿入 午後6時10分
	大鏡餅	瀬戸市奉賛会 (50俵どり/総重量約4トン)

平成31年2月17日(日)	気象	晴れ / 午後2時現在 9.3度
	裸男	9,000人
	参拝者	25万人
	神男	松本 宗己(一宮市奥町/会社員/29歳) ・参道登場 午後4時39分 ・儼追殿入 午後5時44分
	大鏡餅	名古屋市守山区奉賛会 (50俵どり/総重量約4トン)

【尾張大國霊神社(国府宮)】

- ◆交通 名鉄名古屋本線 「国府宮駅」から 徒歩5分
JR東海道本線 「稲沢駅」から 徒歩15分
- ◆問合先 尾張大國霊神社社務所
稲沢市国府宮一丁目1-1
電話(0587)23-2121

編集・発行
稲沢市経済環境部商工観光課
Tel (0587)32-1332 (ダイヤル)

天下の奇祭
国府宮はだか祭



令和2年2月6日(木)

愛知県稲沢市

なおい
◆**儼追神事(はだか祭)関連行事日程表** (令和2年)

天下の奇祭 国府宮はだか祭

日程 令和2年2月6日(木)
会場 尾張大國霊神社(国府宮)
稲沢市国府宮一丁目1番1号

<起 源>

「はだか祭」は、正式名称を「儼追神事(なおいしんじ)」と言います。今から約1250年前、奈良時代の神護景雲元年(767年)称徳天皇の勅命によって全国の国分寺で悪疫退散の祈禱が行われた際、尾張国司が総社である尾張大國霊神社においても祈禱をしたことに始まったと伝えられています。

目立つ節分行事が近在に無かったこともあり、尾張地方に春を呼ぶ祭りとして定着したこの神事に、裸の寒参り風習が結びついて、現在のようなはだか祭の形態になったのは江戸時代末期のことです。昔は、その年の恵方に人を求め、男を捕らえ儼負人(なおいにん・神男)に仕立てた「儼負捕り」ということが行われましたが、現在の裸男の揉み合いという形態は、この儼負捕りを受け継ぐものとされています。

<祭 り>

●旧暦正月13日 [令和2年2月6日(木)]

42歳と25歳の厄年の男を中心に、尾張一円からサラシの褌に白タビ姿の数千人の裸男が集まります。寒さを吹き飛ばす「ワッショイ」の掛け声と、揉み合いの熱気が国府宮にはちきれます。また、裸になれない老若男女は、氏名や年齢等を書いて願いを込めた「なおい布」を「なおい笹」に結び付けます。その「なおい笹」を裸男たちは担ぎ、群れをなして威勢よく境内へ駆け込み皆の願いと共に奉納するのです。

なおい笹奉納の最後に、小池正明寺地区の手桶隊が登場します。その手桶隊が裸男達めがけて水をかけ始めて暫くすると、参道の一角に全身無垢の神男が、警護の者に守られて裸男の群れの中に密かに登場します。その神男に触れて厄を落とそうと、神男に殺到し凄まじい揉み合いになります。浴びせられる手桶の水は、裸男たちの摩擦の熱でたちまち湯煙となりますが、その手桶の水に裸男たちが怯む隙をついて、神男は参道から楼門を通り儼追殿を目指します。この60分ほどの間がこの奇祭のクライマックスとなります。

交通 名鉄名古屋本線 「国府宮駅」から 徒歩5分
JR東海道本線 「稲沢駅」から 徒歩15分

問合せ 尾張大國霊神社(国府宮) 電話(0587)23-2121
ホームページアドレス <http://www.konomiya.or.jp/>



儼追神事(はだか祭) 標柱建式
(なおいしんじめばしらたてしき)
旧暦正月2日午前9時に行われる標柱建式。「儼追神事」と大書された標柱が楼門前に建てられ、祭りの開幕を告げます。



儼負人(神男) 選定式
午前10時、志願者を儼追殿に集めてその年の神男を選定。神男は三日三晩、儼追殿にこもり祭りの本番にそなえます。



大鏡餅奉納
お供えとして奉納される大鏡餅は、なんと50俵どり(約4トン)という巨大な代物。祭りの前日、神男を迎えられ拝殿へ納められます。



儼追神事(はだか祭)
旧暦正月13日午後3時過ぎ、神男に触れて厄を落とそうとする裸男たちが神男を待ち構えて揉み合う。そこへ神男がとびこみ、祭りはクライマックスを迎えます。

月 日	時刻	祭典・行事	旧暦月日	No.
1月26日 (日)	午前9時	なおいしんじめばしらたてしき 儼追神事標柱建式	正月2日	①
	午前10時	なおいにん(しんおとこ)せんていしき 儼負人(神男)選定式	正月2日	②
1月30日 (木)	午前9時	おおかがみもちもちめあらい 大鏡餅米洗	正月6日	
1月31日 (金)	午前5時	おおかがみもちもちつき 大鏡餅搗揚	正月7日	
2月3日(月)	午後5時	なおいにん(しんおとこ)さんろう 儼負人(神男)参籠	正月10日	
2月4日(火)	午前9時	おおかがみもちがざりつけ 大鏡餅飾付	正月11日	
		つちもちつきしんじならびにひふしたため 土餅搗神事並秘符認	正月11日	
2月5日(水)	午後1時	おおかがみもちほうろう 大鏡餅奉納	正月12日	③
	午後7時	ちようやしんじ 庁舎神事	正月12日	
2月6日(木)	午後3時	なおいしんじ 儼追神事(はだか祭)	正月13日	④
2月7日(金)	午前3時	よなおいしんじ 夜儼追神事	正月14日	⑤
	午前8時	おおかがみもちもちきりはじめ 大鏡餅餅切始	正月14日	⑥
2月10日 (月)	午後7時	まといしんじ 的射神事	正月17日	
2月16日 (日)	午前9時 30分	ちやかい なおい茶会	正月20日	



夜儼追神事(よなおいしんじ)
午前3時、罪穢をつきこんだ土餅を背負った神男が境外へと追い出されます。そして神男は途中で土餅を捨てて帰宅し、神職はこの餅を地中に埋め、罪穢を封じ込めます。



大鏡餅餅切始
旧暦正月14日午前8時からは大鏡餅を切って参拝者に授与。この餅を食べると無病息災で過ごせるとの言い伝えがあり、多くの参拝者が集まります。